

まえがき

「2019年度学生生活実態調査報告書」を刊行いたしました。

この報告書は、2019年9月から10月にかけて実施した調査を統計的に処理して分析し、その結果を概要やグラフ及び基礎集計表にまとめています。

この調査の目的は本学学生の実態を把握することであり、また学生の修学状況、課外活動やボランティア活動の実態、学生の福利厚生に関する基礎資料を作成し、経年的に比較することで、学生の学業面、生活面をサポートするための施策を迅速に立案実施するためには欠かせないものと考えております。

今年度は同様の質問を年数を経て繰り返し調査する「本学独自調査」（4ページ「調査概要」参照）の年あたり、2015年度に実施した前回の同調査の質問を中心に調査内容を再編成し、「マナーへの配慮」、「20歳未満飲酒の現状」等の学生生活におけるタイムリーな問題にも焦点を当てた項目を多く盛り込みました。さらに、グラフやコメントには社会情勢や学内及び本学を取り巻く環境の変化も考慮しつつ、経年的な比較を多く掲載いたしました。この結果、より正確に本学の学生像を把握できるものになったと考えております。

社会全体のグローバル化や情報技術の急速な進歩により、学生のニーズが変化するスピードは非常に速くなってきており、学生の多様化を実感いたします。そのような状況の下、本調査結果のみでは学生の意識を判断できかねる面もあり、今後更なる調査内容・方法を検討する必要性を痛感しています。

2020年3月31日

関西大学 学生センター所長
岡本 哲和